

河川・海岸堤防の本格復旧に着手。

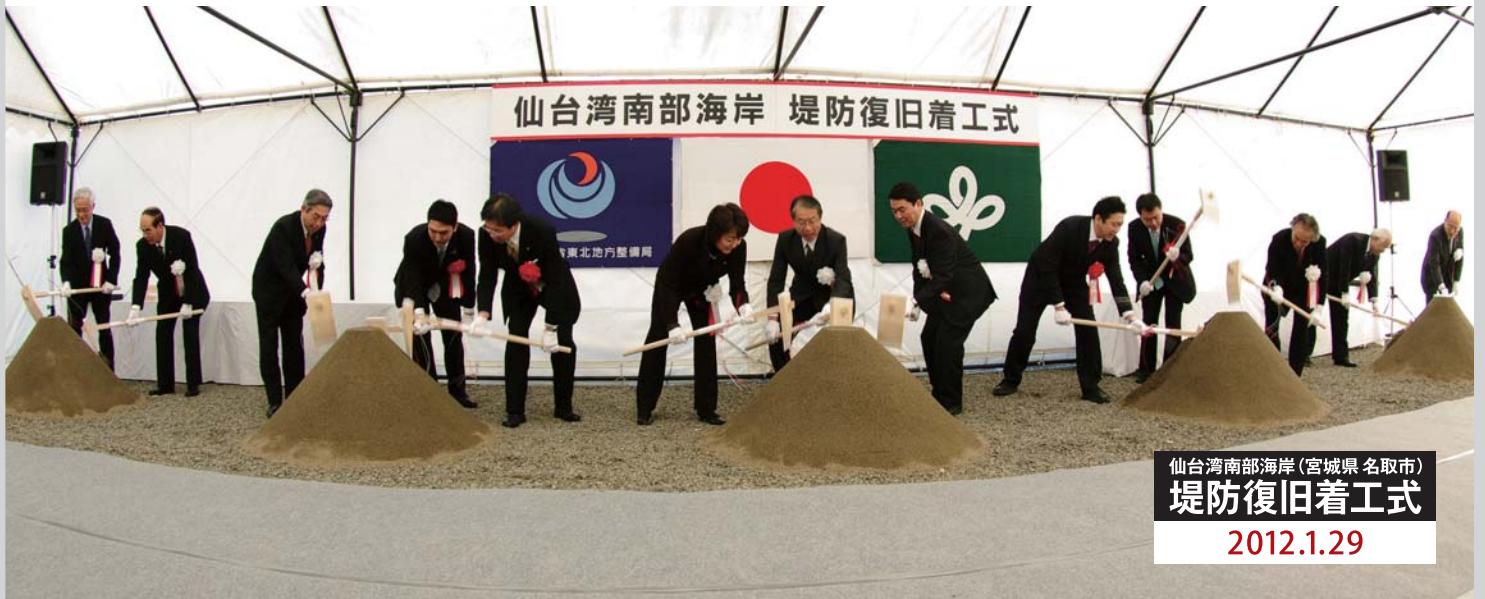
明日のために。

宮城県の復興を、防災面から支える本格復旧工事。

河川堤防については、2011年11月11日から121箇所において本格復旧工事に着手した。

また、岩手、宮城、福島3県の海岸施設は総延長300キロに及び、うち約190キロが被災。特に被害の大きかった仙台湾南部海岸は、宮城県知事からの要請を受け、管理者である県に代わり国が代行して工事を実施することとなり、被災3県では初めての本格復旧工事に着手した。

堤防の高さは、数十年から百数十年に一度の発生が予想される津波を想定し、7.2メートルに設定。この復旧工事は、沿岸5市町(仙台市、名取市、岩沼市、亶理町、山元町)の復興を防災面から支えることとなる。



仙台湾南部海岸(宮城県名取市)
堤防復旧着工式

2012.1.29



仙台湾南部海岸(宮城県名取市)
工事開始式

2012.1.29